

報道関係者 各位

ジャパン・ベンチャー・リサーチ レポートリリースのお知らせ

特定非営利活動法人ジャパンベンチャーリサーチ(以下、JVR という。所在地:東京都渋谷区、代表理事:北村彰)は、JVR が保有する資本政策データベースをもとに下記3種のレポートを作成いたしましたのでお知らせいたします。

これらのレポートは、直近の未公開企業の資金調達、また出口である IPO 市場の現状が、ベンチャー企業が厳しい環境に置かれている状況を浮き彫りにしています。

各レポート JVR ホームページ(<http://www.jvr.jp/>)あるいは下記リンク先よりご覧ください。

記

1. IPO Trend in Japan 1989-2010

IPO 社数(1989年~)およびベンチャーキャピタル出資先企業の IPO 社数(2001年~)の推移を示した。

IPO 社数は 2007 年に減少に転じ、全市場で 2009 年は直近ピークの約 10 分の 1 になり、2009 年、2010 年は新興市場に上場したベンチャーキャピタル出資先企業はそれぞれ一桁の 8 社、9 社に止まった。

(英語版のみ) <http://www.jvr.jp/library/report/english/ipotrend.pdf>

2. 未公開ベンチャー企業の資金調達レポート(Japanese Venture Financing Report)

国内未公開ベンチャー企業(既上場企業の上場前を含む)の 2000 年以降の資金調達の状況を示した。

国内未公開ベンチャー企業の資金調達は、金額、社数ともに 2006 年をピークに減少に転じ、リーマンショック後の 2009 年に激減した。調達総額に回復が見られないものの、1 社当たりの調達金額は 2010 年より上昇している。

(日本語版) <http://www.jvr.jp/library/report/japanese/vbfinancing20110705.pdf>

(英語版) <http://www.jvr.jp/library/report/english/vbfinancing20110705.pdf>

3. 新興市場上場企業による種類株利用状況

2003 年から 2010 年に新興市場に上場したベンチャーキャピタル出資先企業による種類株発行状況を示した。

この 8 年間に新興市場に上場したベンチャーキャピタル出資先企業 535 社のうち、種類株を利用した企業は 18 社に止まった。法改正等で種類株式の利用促進が図られてきたが、まだ効果は見られない状況である。

(日本語版) <http://www.jvr.jp/library/report/japanese/stock20110705.pdf>

以上

■ ジャパンベンチャーリサーチについて

日本では年間約 1,000 社のベンチャー企業に対して約 1,000 億円の投資が VC によって行われているにもかかわらず、その実態が明らかにされることはありませんでした。ジャパンベンチャーリサーチは、ベンチャー企業と VC とをつなぐ接点のデータを集めることで、それぞれの実態を調査、分析できることを目標とし、2006 年 8 月 1 日設立。

未公開企業の資本政策情報のデータベース化という日本で初めてとなる活動に着手し、ベンチャー企業への資本政策支援、企業価値評価分析、VC 投資分析などを行っています。

■ 代表理事

北村 彰 (きたむら あきら)

日立を経て、その後 13 年間に在席した日本 IBM では営業、副社長補佐などを務め、1991 年より日本オラクルの会社の立ち上げに参画する。1994 年 日本グプタ(現:イーシステム、ヘラクレス上場)、2000 年 セールスフォースドットコムを設立し、それぞれ社長を務め、CRM 市場の拡大発展、クラウド事業の幕開けに貢献しました。これまでのベンチャー企業立上げや事業再生、IPO 経験を活かし、現在サンブリッジをはじめ数社の役員を務める傍ら、JVR の代表理事に就任し、日本で初めてとなるベンチャー企業の資本政策情報のデータベース化を行っています。

■ 役員構成

代表理事 : 北村 彰

理事 : アレン・マイナー 株式会社サンブリッジ 代表取締役会長

理事 : 秦 信行 國學院大學経済学部 教授

監事 : 山村 聡之輔

■ 本件に関するお問い合わせ

特定非営利活動法人ジャパンベンチャーリサーチ

担当: 村上 info@jvr.jp <http://www.jvr.jp>